

令和元年度 全国学力・学習状況調査結果について

本年度4月18日（木）に、全国学力・学習状況調査が全国の小中学校対象に行われ、本校3年生も参加しました。先日、その調査結果が届きました。

今回の調査結果を、全国・愛知県の調査結果と比較分析し、まとめました。この結果は、本校の教育活動の改善に生かしていきたいと考えています。今後も、ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

I 教科学力(国・数・英・英「話すこと」、教科指導(生徒質問紙)の調査結果から

1 国語

全体の平均正答率としては、多くの問題で全国平均・県平均と同等の正答率であった。「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ」問題や「文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ」「書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する」「語の一部を省いた表現について、語や文章の中で適切な活用の仕方を理解する」問題については、全国平均に比べよくできていた。一方、「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」問題や「相手に分かりやすく伝わる表現について理解する」問題では、全国平均を下回った。

国語の授業に関する意識（生徒質問紙）調査からは、「国語の勉強は好き」「国語の勉強は大切」「国語の内容はよくわかる」「読書は好き」と答えている生徒は、全国・県平均を上回った。さらに、「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」や「自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなどを工夫している」と答えている生徒の割合は全国・県平均を大きく上回った。

このような結果を踏まえ、生徒の意欲を生かしつつ、今後の学習の中で、文章から必要な情報を読み取り、整理する活動に力を注ぎたい。そういった活動を通して、事実から判断した考えをもたせたり、それを周囲に発信するなど、根拠を明らかにして話したり書いたりする力をさらに伸ばすことにつなげていきたい。

2 数学

全体の平均正答率としては、全国平均を上回ったものの、県平均を下回った。「説明を読み、 $6n + 9$ を $3(2n + 3)$ に変形する理由を完成する」問題や「連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する」問題など、「数と式」の問題の多くについて、全国・県平均を上回った。しかし、「読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める」「図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ」問題については、全国・県平均を下回った。

数学の授業に関する意識（生徒質問紙）調査からは、「数学の勉強は大切だと思う」と答えた生徒の割合が全国・県平均に比べ低かった。しかし、「数学の勉強は好き」「数学の授業内容はよくわかる」と答えている生徒の割合は、全国・県平均を上回った。また、「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか」という質問に対し、「当てはまる」と答えた生徒の割合が全国・県平均を下回った。

このような結果を踏まえ、生徒の意欲を生かしつつ、問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「用い方」を明確にして問題解決の方法を説明する活動や、日常生活や社会の事象における問題に対し、目的に応じてデータを収集し、ヒストグラムなどに整理し、データの分布の傾向を読み取ったり、統計的に問題解決をしたりする活動を充実させていきたい。そういった活動を通して、学習が将来の生活に役立っていくという意識を持たせていきたい。

3 英語「聞く・読む・書く」、英語「話すこと」

「聞く・読む・書く」について、全体の平均正答率としては、全国平均・県を下回った。

「外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する」問題や、「文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する」「与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く」問題で、全国・県の平均を大きく上回った。一方、「日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取る」問題や「日常的な話題について、情報を正確に聞き取る」問題については、全国・県平均を下回った。

「話すこと」については、全国平均を大きく上回った。特に、「月日に関する基本的な表現を理解して、応答する」「交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答する」問題の正答率が高かった。一方、「会話を聞いて把握した内容について、即興で質問する」問題の正答率は全国平均を下回った。

英語の授業に関する意識（生徒質問紙）調査からは、「英語の勉強は大切だと思う」「英語の勉強は好き」「英語の授業はよく分かる」と答えた生徒の割合は、全国・県平均を大きく上回った。一方、「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか」という質問について、「思わない」と答える生徒の割合が全国・県平均を上回った。また、「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいか」という質問に対し、「当てはまる」と答えた生徒の割合が全国・県平均を下回った。

このような結果を踏まえ、生徒の意欲を生かしつつ、一文一文を聞き取る・読み取るだけでなく、目的や場面、状況に応じて「聞く」「読む」言語活動を充実させること、文法事項を言語活動の中で理解し定着させること、即興のやり取りをはじめとした「話す」「書く」など発信の言語活動を充実させていきたい。

II 学力向上・学校経営（生徒質問紙）に関する調査から

1 好ましい状況

- ・ 「学校の規則を守っていますか」との質問に対し90%以上の生徒が当てはまると回答した。日頃の家庭教育や生徒指導の成果により規範意識が育っているといえる。
- ・ 「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と考える生徒の割合がほぼ100%であり、人権意識の高さが感じられる。
- ・ 「人が困っているときは、進んで助けていますか」との質問に対し90%以上の生徒が当てはまると回答し、全国・県平均を大きく上回った。
- ・ 「人の役に立つ人間になりたい」と答えた生徒の割合が90%を超えていた。
- ・ 「地域の行事にに参加している」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と考える生徒の割合が全国・県平均を上回った。ボランティアに参加する活動などを通して、地域の一員としての意識が高まってきた。

2 課題と今後必要と思われる対応

<生徒の生活面について>

- ・ 「自分にはよいところがない」と思う生徒の割合が昨年より低くなったが、引き続き、道徳の授業などを中心に自己肯定感を高められるよう取り組みを進めていきたい。
- ・ 「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合が全国・県平均を下回った。キャリア教育の取り組みをさらに充実させていくことが必要である。
- ・ 「1・2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」という質問に対し、「そう思わない」と答えた生徒の割合が昨年より低くなった。さらに、今後も学び合いの学習や主体的に課題を追究していく過程を大切に学習をさらに推し進めていきたい。
- ・ 「学校の授業時間以外に勉強をしている時間（塾等を含む）」が、全国・県平均を上回った。宿題についてはしっかり取り組んでいるので、自主学習に対して意欲を高めるようにさらに促していきたい。
- ・ 「学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」とについて、「まったくしない」の割合が、全国・県平均を上回った。朝読書以外においても、活字にふれ、豊かな心が育まれるよう、読書の大切さを教えていきたい。

<教師の指導について>

- ・ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」「先生は、あななのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に対して、当てはまると回答した生徒の割合が全国・県平均を上回った。今後さらに、一人一人のよさを認め、きめ細かく指導できるようにしていきたい。